

# 伝統工芸の世界へ

グルグルミ回転台からそんな音が聞こえる。これはこの音はここから最高の作品になるまでの始まりの音魅了されてしまう最初の...

工場では職達の腕が光っている。初め「三川内焼き」と聞いて普通の焼き物と何か違うんだと思う人もいるだろう。そこで佐世保が誇る焼き物「三川内焼き」についても、もっと知ってもらいたいと思う。



まず知ってもらいたいのは三川内焼きのすゝみについてだ。上の写真を見ればよい。

中国風の髪型や服装をした子どもの姿を描いた唐子は、三川内焼の中で最も知られたモチーフ。そして采女すこいと思うところはなんともいえずつつ手作業なところだ。絵を描くと濃淡を付けて、一休時間、何日かかるだろうか。しかもこんな繊細な作業を四百年受けつがれているのもすゝみのすゝみだろう。

ここでまた写真を見ればよい。この写真が出来上がった作品だ。ここまで手作業でするから、すまじと職人は手を止めてしまう。そして三川内焼は国宝・伝統工芸品に指定されている。でもこんな歴史がある「三川内焼」は国宝・伝統工芸品になる訳も納得しなかつた訳がない。

このように四百年間、文事に受けつがれてきた佐世保市の多くの人に愛されている。そして国宝・伝統工芸品に指定されている。だから佐世保の宝ということか言える。

一度目見たら魅了されてしまう。且最高の焼き物。三川内焼。一度買ったり見たりしてみたりしたらどうだろうか。

写真提供(社)長崎県観光連盟